

肥大性と在園性に優れる 黒柄系一本ネギ

渡辺交配

第59回全日本野菜品種審査会
入賞

NX-AF203

ネギ

予告品種



品種特性

- ①耐暑性と耐寒性に優れているので、7月～1月という広範囲で収穫することができます。
- ②太りと充実(締まり)が良いので早期出荷に向きます。
- ③伸び上がりが遅いために在園性に優れています。
- ④草勢は強すぎず、草姿は立性なので管理作業が容易です。

栽培のポイント (ご希望の収穫時期に合わせてご覧下さい)

冷涼地

いつ収穫しますか?	6月	
	7月	夏の早期出荷を安定させるためには、保温に努めてガッチャリとした良苗を作ります。圃場準備を早めに行い、定植後はパストライト等の被覆で活着を促します。近年の温暖化で7～8月は冷涼地とはいえ過酷な環境です。べと病やネギアザミウマ等の病害虫防除を徹底して、収穫遅れによる品質低下に注意します。
	8月	
	9月	
	10月	比較的低温肥大力のある品種ですが、葉鞘の伸長はゆるやかです。太りが先行する性質のため、計画的な土寄せを行い、伸ばす管理が必要です。
	11月	
	12月	

中間地

いつ収穫しますか?	6月	
	7月	晩抽性品種ではないので、極端な早蒔きは避けます。特に夏どり栽培のトンネル被覆は抽苔を促進する可能性があるので避けてください。収穫目標から逆算して計画的に土寄せを行います。盛夏期の収穫となり、在園期間が短いので品質を落とさないためにも収穫遅れに注意します。
	8月	
	9月	
	10月	黒柄系品種としては、夏場の厳しい環境でも欠株が少ない品種ですが、極端な排水不良地・連作圃場では充分に能力が発揮できません。作柄を安定させるためにも予め、排水対策と殺菌剤の施用が必要です。高温期の肥培管理は病害虫防除と除草に集中して、無理な土寄せは控えましょう。
	11月	
	12月	